

質 問・意 見	回 答
<p>庁舎を10m以上の建物にする合理的な説明がない。過去の津波は役場下までしか来ていないようだが、来ないのであれば10m以上いらぬのではないか。</p>	<p>中央防災会議では、最大の津波と頻度の多い津波の2段階に分けて対策を講じるよう提言しています。避難計画は最大の津波を想定するという考えです。江戸時代6～8mの津波があったという過去から想定していくしかありませんが、東日本大震災では東北で想定外の津波が来ていたため、万が一のことを想定して敢えて10m以上としました。科学的な数値ではありません。</p>
<p>県のハザードマップによれば、現庁舎敷地は、液状化Bランクの地帯に入っていた。砂地ため、液状化は十分にありうると思うのだが。</p>	<p>保健センターの建て替えをした際の地質調査では、現庁舎敷地内は液状化や地震に特に弱い地盤ではなかったため、これを判断基準にしました。今後は実際に建てる場所で地質調査を行い、これにより得られた結果で必要な対策をしていきます。</p>
<p>保育所の移転について述べられていたが、東日本大震災では0歳から20歳の死者数は5.7%、それに対し65歳以上の死者数は55%となっていたようである。一宮町にも高齢者施設の一宮苑があるが、海にも川にも近い立地である。これについてはどう考えるか。</p>	<p>各老人福祉施設で避難マニュアルを作り、監督官庁の指導の下に避難してもらうよう指導しています。山の手には20分程度では避難できないので、一時避難所にまとまって避難してもらうよう指導しています。</p>
<p>防災対策本部機能を備えた庁舎をうたっているが、現庁舎敷地内だと、大津波により庁舎の周りにガレキが運ばれると、外に出ていけないし、中に入れることもできない。 また、GSSセンターなど別の場所に防災施設を設置すると行くのに時間がかかって、迅速な対応ができない。今の案だと防災対策本部機能としては厳しいのではないか。</p>	<p>地震発生後、数十分で津波が到達します。地震の情報を得た時点で役場職員はすぐに役場に参集、周囲の状況により迅速な参集が困難で役場にすぐに参集できなかった職員はGSSセンターに参集するという体制です。そしてその2か所で、防災行政無線等により対応していきます。</p>
<p>一宮川の洪水対策についても検討したほうが良い。川と防波堤の高さの差が50センチくらいしかない時がある。300ミリくらいの雨が降ると、溢れてしまうのではないか。</p>	<p>ハザードマップに示されている洪水浸水区域の中には現庁舎敷地は含まれていません。洪水の原因は台風、大雨であり、事前に情報が得られるため、台風情報について無線で避難勧告等を行っています。</p>
<p>役場から駅下に住んでいる人は何人ぐらいいるか。役場を一時避難所とするとのことだが、3階と4階で何人収容できるのか。</p>	<p>人数については、11区から16区で合計938人です。 新庁舎の想定延床面積である2300㎡を4階分で割ると1階あたり575㎡で3・4階分で1150㎡ですが、県の基準では一時避難所は1㎡あたり1人の換算なので、1150人となります。ただし、新庁舎のレイアウトが決まっていないため、実際はこれより少なくなります。</p>

	<p>現在は保健センターの3階にも避難してもらっていますし、一時避難所を9か所から17か所に増やしました。それらの避難所や高台にも避難してもらいたいと考えています。</p>
<p>役場にいるのは大人だが、保育所には子供がいるので、保育所の移転を先に行った方が良いのではないかと。役場は仮庁舎が良い。</p>	<p>東日本大震災の際は津波で堤防から1mのところまで水が上がってきました。こういったことを踏まえ、一宮保育園をはじめ3つの保育園で避難訓練を実施し、一宮小学校まで10分くらいで避難できたということでした。</p> <p>現庁舎の耐震強度は低く地震による倒壊の危険性が高いですが、災害時に防災本部がないと、町民の方のお世話や避難誘導ができないため、町全体を考えた上で、新庁舎の建設を優先しました。</p> <p>来年度は小学校体育館の耐震補修を行います。国で期限が決められているためです。町内の小学校と中学校では、小学校の体育館だけが耐震基準をクリアしていません。</p> <p>一宮保育所は、場所が問題であるため、移転を検討します。保育所の用地取得のために手元の資金が必要となるので、新庁舎の建設に際しては借金をしないで建てようと考えています。</p> <p>今回、新庁舎を一時避難所にするというのは、現在、保健センター3階を利用していますが、不十分だということで、不足分を一定程度埋めていくという考えです。新庁舎ができれば、スペースが大幅に拡充されます。避難の際、役場近くの方は高台への避難を優先していただきたいと思っています。高台への余裕がない方が役場へ避難するようにと考えています。</p>
<p>一時避難所に関して、東浪見についてはどう考えてくれるのか。東浪見には高い建物がいないため、新庁舎ができれば、当然ここに避難したいと考えるだろう。どこの地区の人はどこに避難所に入るのかという大規模な訓練をあらかじめやってみようか。</p>	<p>おっしゃる通りですが、そこまでは詰めていません。11月28日に避難訓練を行います。これはまず避難をしてもらった中で、この避難方法が適切だったのかと話し合って少しずつ改善してもらおうと考えています。避難方法は役場だけでは決めることができません。地元の自主防災組織等と時間をかけて練り上げていくものだと思います。役場は、方向性は示せませんが強制力はありません。ただし、方向性を示していく必要はあると考えています。</p>
<p>新庁舎の建設にあたっては、上位計画を根本的に見直す必要があるのではないかと。保健センターや中央公民館との連携が良いとしているが、保健センタ</p>	<p>いずれ見直しは必要だと思いますが、元々あった上位計画を、3月11日の津波があったことですぐに変えられるものではありません。時間をかけて、町</p>

<p>一、中央公民館の現在の場所がそもそもそこでのいいのか検討すべきである。</p>	<p>民の方々と話し合いながら見直していきたいと思います。</p> <p>現庁舎は耐震基準を満たしておらず、毎日職員や数多くの町民の方々が利用しているため、早急に対処しなければなりません。緊急的なものから順に対応させていただきたいというのが町の考えです。</p>
<p>リース方式と比較して従来方式といっているものは具体的にはどのようなものなのか。事例をどの程度研究したのか。</p>	<p>従来方式は、設計業者に直接設計費を支払って設計図と事業費の積算を委託し、これが完成した後、これらをもとに建設会社に建設を委託するものと捉えています。</p> <p>従来方式とリース方式の2つしか検討していないような説明であったかもしれませんが、検討の段階では、設計施工一括方式や、PFIといって民間に建ててもらって割賦払いをしていく方式も検討しました。全国の事例を調べた上で推進委員会で協議してこれがいいのではということで出したものが、素案で示したリース方式です。</p> <p>インターネット、文献で拾い上げた事例などを事実上4年くらいは検討してきた経緯があります。その上で、実績でリース事業の総事業費が安かったという状況でした。しかし、単純に総事業費だけで考えたわけではなく、安全対策や町民の方々の利便性等も考慮しました。</p>
<p>パブリックコメントについては、町民からの意見を羅列して公開するだけか。</p>	<p>パブリックコメントについては回答をつけて公開します。</p>
<p>現庁舎敷地の場合は地盤改良が必要で、洪水、地盤沈下、温暖化による海面の上昇などを多様な災害を考えると、高台のほうが安く済んでよいのではないか。</p>	<p>高台は移転に費用がかかるため、素案では選択しませんでした。また、資料に記載してなかっただけで洪水も想定し検討しました。</p>
<p>南総一宮線の整備の見通しはどうか。</p>	<p>南総一宮線については県単独事業で行っておりますが、現在は県の財政状況は厳しく、現状での見通しは暗いです。この事業が国の補助事業として採択されるとスピードは上がるでしょう。</p>
<p>海岸区は海拔0mで、役場から約3kmに位置している。また、高齢者が非常に多い。素案に、庁舎の津波対策については建物で衝撃を受け止めるのではなく、防災林の要望をしていくということだが、国や県にいつごろ事業をやってもらえるのか。</p>	<p>直近の新聞発表で、林野庁では津波に強い防災林について検討していくとしています。また、県議会では県の農林部長が積極的に検討していきたいという回答をしています。</p> <p>先週、九十九里からいすみ市までの自治体で、南九十九里侵食対策防止協議会として県知事に要望書を出しました。もうすぐ知事と市町村長との懇談会もあるので、そこでもこの案件について強く要望します。東北の自治体や、千葉県の旭市などの被災地</p>

も同様に国に要望しています。

県の事業であり、また、国の補助事業として採択されるかがわからないので、いつまでに実現できるかということはわからないので、今後とも皆様のご協力をお願いします。

その他ご意見をいただきました。

ご意見

今回の住民説明会は参加者が約70名で、うち町職員が17名、報道関係者が2名という状況である。今までのプロセスでは、9月議会で議員に説明し、9月末に記者会見を行い、一部では基本計画が決定したという新聞記事なども出されたため、町民としてはこの計画はもう変更されることがないという意識になってしまった。個人的には素案として良いものができたと思っているが、せっかく作成したものがもったいない。計画の説明など大切な案件については集客を工夫すべきである。そうしなければ、町民と一緒に新しいまちづくりはできない。

今回の説明で納得できた。集客が悪かったのは、役場にも原因があるものの、町民自身ももっと周囲に呼びかけても良かったと思う。

リース方式は民間の能力が活用されてコストが下がるので良いのではないか。